

令和8年度 教育課程表

第3年次用

小学科・類型等		ビジネス(4修生)					ビジネス(3修生)				教科の備考		
学級数		1											
教科等	科目	標準 単位数	年次				計	年次					
			1	2	3	4		1	2	3	計		
国語	現代の国語	2	2				8	2			8	*2 国語表現2単位は始業前に履修する。 *2 地理総合2単位は始業前に履修する。 ▲ 4修生は数学Aと生物基礎との間で選択し、3・4年次で続けて履修する。 *2 生物基礎2単位は始業前に履修する。 ▲ 4修生は生物基礎と数学Aとの間で選択し、3・4年次で続けて履修する。 *1 体育1単位は始業前に履修する。 *2 論理・表現I 2単位は始業前に履修する。	
	言語文化	2		2					2				
	国語表現	4			2	2							2*2
地理	地理総合	2			2	6	*2			6			
歴史	歴史総合	2		2	2			2	2				
公民	公共	2	2				2			2			
数学	数学I	3	2	2		4, 8	2	2		6			
	数学A	2			▲2		▲2				2		
理科	科学と人間生活	2		2		4, 8		2		6			
	生物基礎	2			▲2		▲2	*2					
	地学基礎	2	2					2					
保健	体育	7~8	2	2	2	2	10	2*1	2	2	9		
体育	保健	2	1	1				1	1				
芸術	音楽I	2			2		2			2	2		
外国語	英語コミュニケーションI	3	2	2		8	2	2		8			
	論理・表現I	2			2		2		*2		2		
家庭	家庭基礎	2		2			2			2	2		
情報	情報I	2										情報は専門科目情報処理で代替する。	
専門科目	ビジネス基礎	2~4	3			26		3※		23			
	課題研究	2~5			3				3				
	総合実践	2~4					2						
	ビジネス・コミュニケーション	2~4		2					2※				
	マーケティング	2~6					△2				2※		
	観光ビジネス	2~4					△2						
	ビジネス法規	2~4					△2				*3		
	簿記	2~7			4		3				*3	2	
	情報処理	2~4	3	2					3		2		
ソフトウェア活用	2~5				2								
総合的な探究の時間	3~6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	総合的な探究の時間は3年次の課題研究で代替する。		
自立活動		(1)	(1)	(1)	(1)	(4)	(1)	(1)	(1)	(3)			
履修単位数		19(1)	19(1)	19(1)	19(1)	76(4)	24(1)	24(1)	24(1)	72(3)			
特別活動・ホームルーム活動		1	1	1	1	4	1	1	1	3			
合計		20(1)	20(1)	20(1)	20(1)	80(4)	25(1)	25(1)	25(1)	75(3)			
卒業に必要な修得単位数		74					74						
週あたり時間数		20	20	20	20		25	25	25				

備考
 ・高等学校卒業程度認定試験で合格科目があれば、審査の上単位の修得を認める。
 ・技能審査、実務代替、定通併修については、条件を満たせば審査の上単位の修得を認める。
 ・転編入者の過年度の修得単位があれば、審査の上これを認める。

◎(3修生)技能審査:次の技能審査を対応科目で指導し、卒業に必要な不足単位数(2単位)を修得させる

技能審査の種類と水準	対応科目	増加単位数	備考
日商簿記検定(2級) or 簿記実務検定(会計)	簿記	2	注1 対応科目は履修していること
日商簿記検定(3級)	簿記	1	注2 同種資格の取得による
簿記実務検定(2級)	簿記	1	増加単位は最大2単位とする。
ビジネス文書実務検定(2級)	情報処理	1	全国商業高等学校協会主催
ビジネス文書実務検定(1級) (速度部門)(ビジネス文書部門)	情報処理	各1	全国経理教育協会主催
ビジネス計算実務検定(2級)(総合)	ビジネス基礎	1	日本商工会議所主催
ビジネス計算実務検定(1級) (普通計算部門)(ビジネス計算部門)	ビジネス基礎	各1	日本実用英語検定協会主催
情報処理検定(2級以上)	情報処理	1	日本漢字能力検定協会主催
商業経済検定(2級以上) (ビジネス法規)(マーケティング)	ビジネス法規 マーケティング	1	上記主催の検定とする。
英語検定(2級以上) or 実用英語検定(準2級以上)	英語コミュニケーションI	1	
漢字能力検定(3級以上)	現代の国語	1	